

# 小豆の機械化体系における 省力的除草技術の確立

(農林センター)

- ・ 小豆の栽培様式の違いによる雑草発生実態を類型化しました。
- ・ それぞれの栽培様式に効果的な雑草防除技術を体系化しました。

## 発生雑草の類型

## 雑草防除技術体系

栽培様式	発生雑草		耕種的防除	化学的防除
<b>狭条密植栽培</b> <b>培土：無し</b>  収穫はコンバイン 	<b>栽培様式共通</b> <b>して見られる</b> <b>雑草</b>  ・タカサブロウ  ・イヌビユ	<b>狭条密植栽培</b> <b>(培土無し)で</b> <b>見られる雑草</b>  ・アメリカセンダングサ  ・クサネム	<b>・除草カルチ</b>  (作業速度が速く、大面積の作業可能、 <b>標準栽培にも使用可能</b> )	<b>・ダイロン</b> <b>播種直後が適期</b> <b>ハイクリブームの</b> <b>使用が望ましい。</b>  <b>・トレファノサイド</b> <b>(慣行剤)</b> <b>播種後発芽前に</b> <b>使用する</b>
<b>標準栽培</b> <b>培土：有り</b>  収穫はコンバイン または ビーンハーベスタ	 ・ヒロハフウリン ホオズキ  ・カヤツリグサ		<b>・除草カルチ</b> <b>・中耕ディスク</b>  (作業速度が速く、大面積の作業可能だが、 <b>狭条密植栽培には使用不可</b> ) <b>・中耕ロータリ(慣行機)</b>  (狭条密植栽培には <b>使用不可</b> )	

- ・ 栽培様式の違いによる発生雑草の種類を類型化し、雑草防除技術を体系化
- ・ 土壌処理除草剤「ダイロン」の使用方法（播種直後が薬害少）を確立

新しく開発された「中耕ディスク」や「除草カルチ」の除草効果と作業速度が高いことも確認。化学農薬に依存しない効率的な除草法として、環境に優しい農業の推進にも役立ちます。